

# 区民委員会報告資料

令和 7 年 1 2 月 5 日

報告事項件名	頁
1 足立区学校開放事業審議会の進捗状況について . . . . .	2
2 デフリンピックの柔道・空手競技の観戦結果等について . . . . .	6
3 足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託の公募型プロポーザルによる事業者の特定結果について . . . . .	10
4 梅田八丁目複合施設整備工事費の令和 8 年度当初予算計上の見送りについて	16

(地域のちから推進部)

# 区民委員会報告資料

令和7年12月5日

件名	足立区学校開放事業審議会の進捗状況について		
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課		
内 容	<p>学校開放事業には、現在約1,300団体が利用登録しており、スポーツや文化活動、地域交流のために学校施設が活用されている一方で、利用回数の不公平感や利用ルール違反等、様々な課題を抱えている。</p> <p>そこで、令和7年7月に足立区学校開放事業審議会へ諸課題の解決策を諮問し、検討を行っている。これまで、2回の審議会を開催したため、現時点での検討状況を報告する。</p> <p><b>1 足立区学校開放事業審議会の設置目的</b></p> <p>学校開放事業が抱える諸課題について議論し、解決策を検討することを目的に設置している。今回、以下の2点を念頭に検討を進めている。</p> <p>(1) 利用者がより申請しやすく、かつ、活動の機会を確保できるようにすること。</p> <p>(2) 学校施設を安全かつ丁寧に利用いただくようにすること。</p> <p><b>2 これまでの審議会の経過</b></p>		
		第1回	第2回
	開催日	令和7年7月28日（月）	令和7年10月27日（月）
	決定事項	<p>(1) 学校開放事業が抱える課題を4つに分類し、議論を進める上での4つの柱を設定した。</p>	
		No.	主な課題
1		申請手続きの効率化	柱Ⅰオンライン化と負担軽減
2		利用回数、頻度の不公平感解消	柱Ⅱ登録要件の見直し
3		貸出枠の拡大・創出	柱Ⅲ貸出枠の見直し
4	利用ルール順守の徹底	柱Ⅳ罰則規程の導入	
	<p>(2) 審議会での活発な意見交換を踏まえ、より丁寧に議論を進めるため、審議会の開催回数を当初予定の3回から全5回に変更した。</p>		

	第 1 回	第 2 回
	検討したこと	
	<p>学校開放事業の概要、解決すべき課題を共有した上で、解決に向けた方向性について意見交換を行った。</p>	<p>第 1 回の議論を踏まえ、利用申請のオンライン化、学校開放管理運営委員会のあり方（利用調整会議の実施方法等）の 2 点を中心に議論した。</p>
	<p><b>主な意見</b></p> <p>ア オンライン化については効率化の観点からぜひ進めてほしいが、<u>まずはモデル校を設定して課題を洗いだしてから全校に展開するなど、段階を踏むべきである。</u></p> <p>イ 学区域要件を廃止すると、車での来校者が増える懸念があり、慎重に検討すべきである。</p> <p>ウ 貸出時間の細分化については、管理・調整の手間が増えるため、出来る限りシンプルな制度であってほしい。</p> <p>エ 多くの利用者はルールやマナーを守ってくれているが、<u>一部守らない方もいるので、ペナルティを適用していかななくてはいけない。</u></p>	<p>ア 当区では、利用調整会議が円滑に回っているため、<u>利用調整会議を行った上で空き枠を追加でオンライン申請できる形がよい。</u></p> <p>イ 利用者の中には高齢者も多いので、<u>オンライン化する際には、相談窓口を設ける必要がある。</u></p> <p>ウ 川崎市や神戸市など、スマートロック※を導入している事例があり、I C T化の中で検討していく必要がある。</p> <p>※ 暗証番号やスマートフォン端末を利用して開錠・施錠するシステム</p> <p>エ 学校開放管理運営委員会は困りごとの共有をする場でもあり、現状どおり 2 か月に 1 回程度の頻度で開催するのが適切だと思う。</p>
	<p><b>3 今後の方針</b></p> <p>(1) 審議会は残り 3 回を予定しており、4 つの柱ごとに議論を重ねた上で、令和 8 年 6 月頃に答申いただく予定である。</p>	

(2) 4つの柱とは別に、第2回の審議会で検討課題として挙げた次の2点について、第3回審議会で議論する。

ア スマートロックについて、他自治体の状況を調査し、当区で導入すべきかどうかを検討する。

イ オンライン化した自治体に対し、教職員の負担軽減にどの程度寄与しているかを調査する。

#### 【参考】足立区学校開放事業審議会の概要

##### 1 所掌事項

(1) 足立区教育委員会（以下「委員会」という。）の諮問に応じ、学校開放事業に関する基本的な施策及び具体的な運営方法について審議し、次に掲げる事項について委員会に答申すること。

ア 学校施設の適正な使用に関すること。

イ 団体利用のあり方に関すること。

ウ 利用上のルールに関すること。

エ その他、委員会が必要と認めること。

##### 2 組織 ※ 委員一覧は、5ページを参照

委員会が委嘱する委員16人以内をもって組織する。

##### 3 過去の開催実績

平成22年度に条例、施行規則を制定した上で諮問し、平成23年度に答申を受けている。今回、平成23年度以来の審議会開催である。

## 足立区学校開放事業審議会委員名簿

任期 令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 6 月 3 0 日まで

	区分	氏名（敬称略）	職歴等
1	学識経験者	二 宮 雅 也	文教大学教授（スポーツ社会学）
2	学校教育 関係者	吉 野 美 一	足立区立小学校 P T A 連合会 （弘道第一小学校 P T A 会長）
3		山 口 美 郁	足立区立中学校 P T A 連合会 （江南中学校 P T A 会長）
4		村 松 治	足立区立千寿双葉小学校校長
5		浅 香 英 典	足立区立興本扇学園校長
6	社会教育 関係者	羽 住 敏 久	足立区スポーツ推進委員会会長
7		飯ヶ谷 美 恵	足立区スポーツ推進委員会副会長 総合型地域クラブ 興本倶楽部会長
8		石 澤 美也子	総合型地域クラブ 千住ウエスト会長
9		小 川 芙美子	足立区青少年対策地区委員会会長連絡協議会 副会長
10		山 崎 弘 孝	足立区スポーツ協会副会長
11	区議会議員	長谷川 たかこ	区議会議員
12		へんみ 圭 二	区議会議員
13	公募による 区民	岡 井 伴 治	区民
14		櫻 井 悠 夏	区民
15		田 口 藍	区民
16		正 岡 佳	区民

# 区民委員会報告資料

令和7年12月5日

件名	デフリンピックの柔道・空手競技の観戦結果等について																																								
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																																								
内容	<p>東京武道館で行われたデフリンピックの柔道・空手競技の観戦結果及び歓迎イベントの結果を報告する。</p> <p><b>1 観戦結果</b></p> <p>(1) 特別観覧席</p> <p>柔道・空手競技の会場自治体として、多くの区民の皆様に会場で観戦していただく機会を設けるため、休日は224席、平日は112席の特別観覧席（地元割当席）を確保した。</p> <p>観戦希望者に特別観覧席で観戦できるプレゼント引換券付「特別観覧席チケット」をオンライン申請等により配布した。</p> <p>(2) プレゼント引換券</p> <p>多くの方に競技会場に足を運んでいただくため、来場者用のプレゼント（シューズケース・シリコンリストバンド）を作成した。</p> <p>観戦希望者や競技当日の歓迎イベントにお立ち寄りいただいた方などに「プレゼント引換券」を配布した（配布枚数1500枚）。</p> <p>(3) 特別観覧席の入場者数及びプレゼントの引換人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>競技名</th><th colspan="3">柔道</th><th colspan="3">空手</th></tr> <tr> <th>実施日</th><th>16日 (日)</th><th>17日 (月)</th><th>18日 (火)</th><th>23日 (日・祝)</th><th>24日 (月・振休)</th><th>25日 (火)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別観覧席 入場者数 (確保席数)</td><td>156人 (224席)</td><td>73人 (112席)</td><td>56人 (112席)</td><td>184人 (224席)</td><td>109人 (224席)</td><td>59人 (112席)</td></tr> <tr> <td>特別観覧席 入場率</td><td>70%</td><td>65%</td><td>50%</td><td>82%</td><td>49%</td><td>53%</td></tr> <tr> <td>プレゼント 引換人数</td><td>328人</td><td>111人</td><td>36人</td><td>227人</td><td>268人</td><td>69人</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 会場外で入場待ちの人数が多かった16日（日）、23日（日・祝）、24日（月・振休）は、区で確保していた特別観覧席の一部を一般入場者席として開放した。</p> <p>※ プレゼントの余りは、選手、ボランティア、ろう空手連盟応援団にお配りしたほか、今後実施するパラスポーツイベントの来場者にお配りする予定。</p> <p>プレゼント作成数＝2,500個 残数＝420個</p>						競技名	柔道			空手			実施日	16日 (日)	17日 (月)	18日 (火)	23日 (日・祝)	24日 (月・振休)	25日 (火)	特別観覧席 入場者数 (確保席数)	156人 (224席)	73人 (112席)	56人 (112席)	184人 (224席)	109人 (224席)	59人 (112席)	特別観覧席 入場率	70%	65%	50%	82%	49%	53%	プレゼント 引換人数	328人	111人	36人	227人	268人	69人
競技名	柔道			空手																																					
実施日	16日 (日)	17日 (月)	18日 (火)	23日 (日・祝)	24日 (月・振休)	25日 (火)																																			
特別観覧席 入場者数 (確保席数)	156人 (224席)	73人 (112席)	56人 (112席)	184人 (224席)	109人 (224席)	59人 (112席)																																			
特別観覧席 入場率	70%	65%	50%	82%	49%	53%																																			
プレゼント 引換人数	328人	111人	36人	227人	268人	69人																																			

(4) 東京武道館の都内小中学校児童生徒の観戦

平日の競技日は、約500席を小中学校の児童生徒の観戦席として使用。区内小中学校だけではなく、葛飾区、台東区の小中学校や葛飾ろう学校の生徒も観戦に来場した。

(5) 区内小中学校のデフリンピック観戦状況

柔道には8校、空手には1校の区内小中学校が東京武道館で観戦参加した。バスケットボールやバレーボールなどの競技会場には、8校の小中学校が観戦参加した。

## 2 大会期間中の歓迎イベント

会場区として区内外から訪れる大会観戦者を歓迎し、記憶に残る観戦体験となるよう、綾瀬駅東口駅前交通広場周辺で歓迎イベントを実施した。

(1) 実施内容

開催日時	内容	詳細内容	来場者数
16日 (日) 午前10時から 午後4時まで  【天気】 晴れ	テント	① ボッチャなどのレクリエーション体験ブース ② 観光交流協会による足立区PR展示 ③ 福祉作業所の物販 ④ ミニ手話講座、デフキーホルダー販売	1,200人
	キッチンカー(3台)	① ナシゴレン、ガパオライス販売 ② 焼小籠包、餃子販売 ③ コッペパン販売	
	その他	① 献血車	
23日 (日・祝) 午前10時から 午後4時まで  【天気】 曇り	テント	① ボッチャなどのレクリエーション体験ブース ② 観光交流協会による足立区PR展示 ③ 福祉作業所の物販 ④ ミニ手話講座、デフキーホルダー販売 ⑤ お囃子演奏(複数団体演奏)	1,000人
	キッチンカー(1台)	① ナシゴレン、ガパオライス販売	
	その他	① 「ぐるぐるKIOSK※」とタイアップ (午後1時から実施)	

開催日時	内容	詳細内容	来場者数
24日 (月・振休) 午前10時 から 午後4時 まで  <b>【天気】</b> 晴れのち 曇り	テント	① ボッチャなどのレクリエーション体験ブース ② 観光交流協会による足立区PR展示 ③ 福祉作業所の物販 ④ ミニ手話講座、デフキーホルダー販売	1,100人
	キッチンカー (5台)	① 焼小籠包、餃子販売 ② ナシゴレン、ガパオライス販売 ③ 今川焼、ベビーカステラ販売 ④ たこ焼き、かき氷販売 ⑤ コッペパン販売	

※ 「あやセンターぐるぐる」や「ぐるぐる博」でやってみた人(出店した人)の次のステップとして、駅前の広場を使って、自分たちで会場の準備から運営まで行う企画(KIOSKとは小さな売店や小規模マルシェのこと)。

(2) 実施場所

綾瀬駅東口駅前交通広場周辺

(3) 当日の様子





### 3 足立区にゆかりある選手の結果

日本選手団名簿において住所が「足立区」と記載されている選手ならびに区職員選手の成績は、次のとおり。

氏名	競技名及び 最終結果	試合詳細
若 松 優 津	女子バスケットボール <u>金メダル</u>	【予選リーググループB】 11月18日（火） 日本 80点－ウクライナ 62点 11月20日（木） 日本 70点－ギリシャ 45点
		【準々決勝】 11月21日（金） 日本 98点－オーストラリア 53点
		【準決勝】 11月23日（日） 日本 62点－ウクライナ 57点
		【決勝】 11月25日（火） 日本 65点－アメリカ 64点
湯 澤 葵	女子空手 形団体 <u>金メダル</u>	【ランキングラウンドグループB】 11月23日（日） 日本38.2－トルコ34.7
		【決勝】 11月23日（日） 日本41.2－イラン38.3
辻 井 隆 伸 定 野 巧	男子ハンドボール <u>7位</u>	【予選ラウンドAグループ】 11月16日（日） 日本21点－トルコ30点 11月17日（月） 日本24点－ブラジル27点 11月19日（水） 日本10点－ドイツ32点
		【順位決定戦】 11月21日（金） 日本12点－クロアチア35点 11月23日（日） 日本25点－トルコ30点 11月25日（火） 日本25点－ケニア20点

# 区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 2 月 5 日

件 名	<b>足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託の公募型プロポーザルによる事業者の特定結果について</b>
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館</u> 図書館サービスデザイン担当課、施設営繕部中部地区建設課
内 容	<p>足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託プロポーザル選定委員会における公募型プロポーザル方式による審査の結果、以下の事業者を契約の相手方として特定したため、次のとおり報告する。</p> <p><b>1 業務名</b> 足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託</p> <p><b>2 業務目的、内容</b>  (1) 業務目的  令和 7 年 6 月に策定した「足立区図書館サービスデザインアクションプラン」に基づき、「本を読む人も読まない人も訪れる図書館」を実現するために、中央図書館 1 階の全面リニューアルと 2・3 階の備品の入れ替え等を行い、今まで図書館を利用しなかった人を中央図書館に呼び込む。</p> <p>(2) 業務内容  ア 中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務  イ 中央図書館 1 階及び外構の改築工事設計業務</p> <p><b>3 特定した相手方</b> 株式会社スターパイロツツ</p> <p><b>4 申込事業者数</b> 2 事業者</p> <p><b>5 提案価格</b>  3 9, 3 3 6, 0 0 0 円（税込）  参考：提案限度額 4 1, 4 6 0, 0 0 0 円（税込）</p> <p><b>6 業務期間（予定）</b>  契約確定日から令和 9 年 6 月 3 0 日（水）まで</p>

## 7 特筆すべき提案概要、評価した理由・ポイント

- (1) 様々な自治体の図書館改修や市民協創の経験が豊富であることが感じられる質疑応答であった。
- (2) 協働計画について柔軟に考えており、足立区ならではの地域課題と一緒にクリアしていけそうな信頼感を持った。
- (3) 設計と運営で多様な意見や立場から議論しながら進めている点は特長と受け止めた。

## 8 特定までの経緯

- (1) 公募期間 令和7年7月24日(木)から8月7日(木)まで

- (2) 選定委員会

ア 委員会開催状況

	開催日	内 容	審査事業者数
第1回	7月22日(火)	実施要領や評価基準等の確認	—
第2回	9月11日(木)	第一次選考（提案書提出者の選定：応募書類の書類審査）	2事業者
第3回	11月6日(木)	第二次選考（事業者の特定：提案書に基づくプレゼンテーション・ヒアリング審査）	2事業者

イ 委員構成（計5名）

種別	氏名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	【委員長】 野 末 俊比古	青山学院大学 教育人間科学部 教授 (図書館情報学)
	【副委員長】 平 賀 研 也	日本大学芸術学部 非常勤講師 (図書館情報学)
区 民	石 塚 理 華	一般社団法人 公共とデザイン 共同代表
	秋 山 知 子	千寿常東小学校PTA役員
区 職 員	菊 地 崇	財政課長

ウ 審査項目及び審査結果

別紙2「足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託提案書提出者選定結果（第一次）、及び提案書特定結果（第二次）」のとおり。

9 今後のスケジュール（予定）

時期	内容
令和7年12月から 令和8年7月まで (約8か月)	基本構想・基本計画策定支援業務
令和8年8月から 令和9年1月まで (約6か月)	基本設計業務
令和9年2月から 令和9年6月まで (約5か月)	実施設計業務
令和9年10月から 令和10年度まで (約1年程度想定)	工事

足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託プロポーザル  
 提案書提出者選定結果（第一次）

評価項目	評価の視点	指標	配点 (委員 5 名の合計)	株式会社スターパイ ロット	第 2 位 事業者
1 業務遂行力	ア 本業務を遂行するために必要な技術者を有しているか。 イ 本業務を円滑に進めるための技術者の配置がなされ、適切な体制が計画されているか。 ウ 必要な技術協力の体制が検討されているか。	従業員数、有資格者数、責任者や専門技術者の配置、業務実施体制、技術協力体制等	1 5 0	1 3 4	1 2 6
2 業務実績	本業務の遂行に有効な経験や実績を有しているか。	同種又は類似業務の実績等	2 5 0	2 3 0	2 3 0
3 専任性	本業務に専念できる時間が十分にあるか。	従事予定者の手持ち業務量	5 0	4 4	3 2
4 経営状況	経営基盤や財務状況が健全か。	財務諸表	5 0	5 0	3 0
1 ～ 4 の合計点			5 0 0	4 5 8	4 1 8
5 区内事業者 加算	区内に本店がある事業者に 1 ～ 4 の合計点の 1 0 % を加点する。			—	—
5 を加えた合計点				4 5 8	4 1 8
選定結果				選定	選定

足立区立中央図書館リニューアル基本構想・基本計画策定支援業務及び設計業務委託プロポーザル  
提案書特定結果（第二次）

評価項目	評価の視点	指標	配点 (委員 5 名の合計)	株式会社スター パイロッツ	第 2 位 事業者
1 業務の実施方針	ア 無理のない設計業務の実施手順が計画されているか。 イ 開設までの業務スケジュール案は効率的か。 ウ 区民の意見や要望を反映する手法は適切か。	実施方針書	100	72	72
2 技術提案内容	<b>【共通】</b> ア 「アクションプラン」を正確に理解し、独創性と実現性を備えた提案内容となっているか。 イ 提案内容について論理的で説得力がある説明か。 ウ この先の時代変化にも対応することが可能な柔軟性を持った提案となっているか。 エ 予定されている施設全体の大規模改修を意識した提案となっているか。 <b>【技術提案課題①居場所・交流機能】</b> (1) 以下のようなこれまで来館しなかった人でも、来館したくなる図書館となっているか。 ア 本を読まない人 イ 静かに過ごすことが難しいために来館を見合わせていた人 ウ 友人同士で会話やグループ学習をしたい人 (2) 来館者が利用シーンに合わせた場所を選んで過ごすことができるようなゾーニングや回遊性について考慮しているか。 (3) 多様な人々が、本や情報を仲立ちとして、楽しくつながり、交流が育まれるような仕掛けがあるか。 <b>【技術提案課題②地域資料と調査機能】</b> (1) インターネット上の情報と冊子体資料の両方を利用する調査を、司書と会話しながら進めることがスムーズに行える空間配置が提案されているか。 (2) ICT 技術を活用した地域資料の活用（歴史や文化など	技術提案書	225	171	153

評価項目	評価の視点	指標	配点 (委員 5 名の合計)	株式会社スター パイロット	A 社
	地域の情報を集積し編集する)を意識した提案内容であるか。 【技術提案課題③区民との協創と職員の開館支援】 (1) 以下の目的に合わせた取り組み(ワークショップなど)として、具体的で現実的な提案がなされているか。 ア 区と共に主体的に中央図書館を創っていく意識を持った区民の意見やニーズを取得し、設計に反映させること。結果的に、そのような区民からなるコミュニティが形成され、リニューアル開館直後から図書館が活用されること。 イ リニューアル開館直後から、新しい設備・機器の運用や図書館サービスの実施をスムーズに行うことができるよう、図書館職員が新しい図書館のコンセプトを正しく理解すること。				
3 コスト	提案内容に対する設計費用の見積りは妥当か。	設計費用の見積り額	25	21	20
4 プレゼンテーション・ヒアリング	ア 説明がわかりやすく、説得力があるか。 イ 質問の意図・目的を理解し、的確かつ信頼できる内容で回答されたか。 ウ 参加意欲が感じられるか。	プレゼンテーション・ヒアリング	150	132	126
1～4の合計点			500	396	371
5 区内事業者加算	区内に本店があり、対象業務区域が区内である場合、合計点に 5%加算 区内に本店があり、対象業務区域が区外である場合、合計点に 4%加算 区内に支店があり、対象業務区域が区内である場合、合計点に 3%加算 区内に支店があり、対象業務区域が区外である場合、合計点に 2%加算			—	—
5を加えた合計点				396	371
選定結果				特定	非特定

# 区民委員会報告資料

令和7年12月5日

件名	<b>梅田八丁目複合施設整備工事費の令和8年度当初予算計上の見送りについて</b>																		
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館</u> 施設営繕部西部地区建設課																		
内容	<p>梅田八丁目複合施設については、設計業務の工期を延伸したことにより、令和7年度に予定していた庁内審査会並びに専門家による工事金額の検証の実施時期を、令和8年度に変更することとした。</p> <p>これに伴い、令和8年度当初予算に整備工事費を計上しないこととするため、次のとおり報告する。</p> <p><b>1 令和8年度当初予算に整備工事費を計上しない理由</b></p> <p>設計が令和8年3月に完了する予定であるため、庁内審査会※を令和8年4月以降に実施する見込みである。それに伴い、令和8年度当初予算に整備工事費を計上しない。</p> <p>※ 概算工事費が1億8千万円を超える工事等の場合に、工事金額などの妥当性を確認する庁内の審査会のこと。実施にあたり、外部専門家に検証を依頼するため、その経費として令和7年度当初予算で10,857千円を計上している。</p> <p>なお、当該経費は令和7年度当初予算に計上済みであることから、令和8年第1回定例会において全額を減額補正のうえ、あらためて令和8年度当初予算で計上する予定。</p> <p><b>【施設整備のスケジュールについて】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th><th>令和10年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計業務 開始時点の 想定</td><td>           ~R7.8 実施設計            →            R7.夏頃 専門家検証→庁内審査会            →            R8.1~R9.9 工事         </td><td></td><td>           R10.1 ● 開館         </td><td></td></tr> <tr> <td>現在の想定</td><td>           ~R8.3 実施設計            →         </td><td>           R8.5~7 専門家検証 → 庁内審査会            →         </td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             建設業界を取り巻く状況を考慮しながら、予算計上・工事実施のスケジュールを設定していく           </div>					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	設計業務 開始時点の 想定	~R7.8 実施設計 → R7.夏頃 専門家検証→庁内審査会 → R8.1~R9.9 工事		R10.1 ● 開館		現在の想定	~R8.3 実施設計 →	R8.5~7 専門家検証 → 庁内審査会 →		
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度															
設計業務 開始時点の 想定	~R7.8 実施設計 → R7.夏頃 専門家検証→庁内審査会 → R8.1~R9.9 工事		R10.1 ● 開館																
現在の想定	~R8.3 実施設計 →	R8.5~7 専門家検証 → 庁内審査会 →																	



	<p><b>2 今後の進め方</b></p> <p>(1) 梅田八丁目複合施設については、庁内審査会の対象案件に選定されているため、庁内審査会の実施前に必要な専門事業者による検証を、書類が整い次第速やかに行う。</p> <p>(2) 庁内審査会での確認後、建設業界を取り巻く状況を考慮しながら、工事契約締結に向けて令和8年度に整備工事費を補正予算で計上できるよう諸手続きを進めていく。</p>
--	--